

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

| プラチナサポート情報共有メール |              |     |           |      |      |
|-----------------|--------------|-----|-----------|------|------|
| No.             | 689          | 配信日 | 2026/5/25 | ジャンル | 業界情報 |
| テーマ             | 香木（伽羅・沈香・白檀） |     |           |      |      |

[香木のお買取をしたことはありますか？]一度も買取したことがない方も多いのではないのでしょうか？  
本日は、そんな「香木」について、特徴と「なぜ高額相場が続いているのか」を共有します。

1. 香木の際立つ特徴

|         |                                                                                                 |                                                                                                      |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特徴      | 白檀（びやくだん）                                                                                       | 沈香（じんこう） / 伽羅（きやら）                                                                                   |
| 香るタイミング | 常温でもしっかり香る<br> | 熱することで本領を発揮する<br> |
| 香りのイメージ | 甘く爽やか、お寺や線香の高貴な香り                                                                               | 複雑で奥深く、一言では表現できない神秘的な香り                                                                              |
| 元の樹木    | ビャクダン科（木自体がもともと香る）                                                                              | ジンチョウゲ科（傷への防御反応で香る）                                                                                  |
| 希少価値    | 比較的入手しやすい（栽培も可能）                                                                                | 絶滅危惧種。人工栽培が極めて困難で超高価                                                                                 |

2. なぜ買取相場が高額なのか

・自然が生み出した希少素材であり、人工では再現できない唯一無二の香り

香木とは、長い年月をかけて樹木に樹脂が沈着し、特有の香りを持つようになった天然木を指します。  
代表的なものとして「伽羅（きやら）」「沈香（じんこう）」「白檀（びやくだん）」があり、  
特に伽羅は“香木の最高峰”として扱われています。

香木の香りは、産地・樹齢・樹脂の含有量によって全て異なります。

同じ香木でも香りに個体差があり、“世界に一つしかない香り”として愛好家や茶道・寺院関係者から高い支持を集めているため。

・歴史的価値と文化的背景

日本では室町時代から香道文化が発展し、香木は武士や貴族の間で珍重されてきました。

現在でも茶道具や寺院儀式、高級線香の原料として使用されており、単なる木材ではなく「文化財的価値」を持つ資産として扱われているため。

3. 迷っているお客様に使えるトーク

「いま香木は、国内だけでなく海外からの需要も非常に高まっております。

そのため、数年前よりも相場が大きく上昇しており、昔から家に置いてあった木が数十万円以上になるというケースも珍しくありません。ただし、相場は海外需要や輸出規制、景気動向によって変動する可能性がありますので、現在の高相場のタイミングで査定だけでもしておく価値は非常に高いと思いますよ。」